

令和6年度

肢体不自由教育部門

小学部

第6学年

⑧学習グループ

年間指導計画

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第6学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	国語		学習グループ名	小⑧	
目標・ねらい	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (2) 順序立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。 (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを資格して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	河野 由美子				
年間授業時数	175.5 単位時間				
使用教科書	新しい国語六上・下(東京書籍)				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	朗読で表現しよう さなぎたちの教室 社会教育施設へ行こう 等	13	○人物どうしの関わりや、中心人物の心情の変化を考える。 ◆心情の変化を確かめながら読み、伝わるように朗読できる。 ○社会教育施設の特徴や機能を確認する。 ◆社会教育施設の特徴を理解し、活用することができる。		(1) 映像、写真などを適宜使用し、児童に身近な題材や学校生活と結びつきのある題材を取り上げて学習を展開する。 (2) ワークシートを適宜活用し、考えを深めたり、整理したりすることができるようにする。
5	意見を聞いて考えよう 筆者の論の進め方をとらえよう 等	15.5	○さまざまな人の意見を聞き、聞いたことをふまえて考える。 ◆自分の意見と比べながら、人の意見を聞くことができる。 ○文章の構成をとらえて要旨を確認し、論の進め方を考える。 ◆筆者がどのように論を進めているか、考えることができる。		
6	いざという時のために 人物どうしの関係について話し合おう 風切るつばさ 等	22	○論の進め方を工夫して、防災についての提案書を作る。 ◆論の進め方を工夫して、防災の提案書を作ることができる。 ○人物の心情の変化を想像し、その理由を考える。 ◆人物の関係をとりえ、心情の変化を読み取ることができる。		
7	インターネットでの議論から考えよう インターネットの投稿を読み比べよう 等	13	○投稿を読み比べて、説得の工夫を考え、自分の意見をまとめる。 ◆投稿から説得の工夫を考え、自分の意見をまとめることができる。		
9	話し合って考えを深めよう 表現に着目して読み、考えたことを伝え合おう 模型のまち 等	20	○自分の立場を決め、それぞれの立場から考えを伝え合う。 ◆考えを深めるために、立場を明確にして話し合うことができる。 ○表現の効果について考え、感じたことや考えたことを伝え合う。 ◆情景や心情の表現に着目し、考えたことを伝え合うことができる。		
10	プラスチックごみの問題について考えよう 「永遠のごみ」プラスチック 等	16	○筆者の文章と資料を関連付け、問題への自分の考えを発表する。 ◆資料の内容を関連付け、問題への答えを発表することができる。		
11	発信しよう、私たちのSDGs プレゼンテーションをしよう 等	15	○集めた情報を効果的に活用して、パンフレットを作成する。 ◆目的に応じて情報を集め、パンフレットで発信することができる。 ○プレゼンテーションの構成を考え、発表する。 ◆資料を使ってプレゼンテーションで提案することができる。		
12	物語を読んで、人物の生き方について考えよう 海のいのち 等	15	○物語が自分に最も強く語りかけてきたことをまとめ、伝え合う。 ◆人物の生き方について考え、感じたことを伝え合うことができる。		
1	宇宙や地球の未来について話し合おう 宇宙への思い 等	16	○文章をもとに自分の考えを広げ、考えたことを話し合う。 ◆宇宙や地球の未来について考えたことを話し合うことができる。		
2	どう立ち向かう? もしもの世界 伝えよう、感謝の気持ち 等	18	○感謝の気持ちを伝えるビデオメッセージを作成する。 ◆構成や表現の工夫を考え、ビデオメッセージを作ることができる。 ○感謝の気持ちを伝えるビデオメッセージを作成する。 ◆構成や表現の工夫を考え、ビデオメッセージを作ることができる。		
3	成長をふり返って未来へ進もう 等	12	○文章の構成を考え、表現を工夫して文章を書く。 ◆出来事の意味を考え、六年間を振り返る文を書くことができる。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第6学年	教育課程名	準ずる教育課程	
教科等名	社会		学習グループ名	小⑩		
目標・ねらい	(1) 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情を育てようとする。 (2) 日常生活における政治の働きと日本の政治の考え方、日本と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々とともに生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。 (3) 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味をより広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てようとする。					
担当教職員 *学校介護職員	河野 由美子					
年間授業時数	105.5 単位時間					
使用教科書	新編 新しい社会6 政治・国際編、歴史編(東京書籍)					
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫	
4	わたしたちの生活と政治 わたしたちの暮らしと日本国憲法	8	○日本国憲法にはどのようなものがあるのかを調べ、基本的な考え方を知る。 ◆わたしたちの暮らしをよくするための日本国憲法や法律の役割を考え、表現する。		(1) 地域教材を活用して、児童が関心をもって学習に取り組めるようにする。 (2) ICTを活用し、観察や見学、聞き取りなどの調査活動を含む具体的な体験を伴う学習やそれに基づく表現活動の充実を図る。 (3) 社会的事象の特徴や意味、社会にみられる課題などについて、多角的に考えたことや選択・判断したことを論理的に説明したり、立場や根拠を明確にして話し合ったりするなど言語活動に関わる学習を重視する。	
5	国の政治のしくみと選挙	8	○国会や選挙について話し合い、国会や内閣にどのような働きがあるのかをまとめる。 ◆日本国憲法の基本的な考え方に着目し、国の政治の働きについて理解する。			
6	日本の歴史 縄文のむらから古墳のくにへ	12.5	○古墳や遺跡を調べ、当時の生活や古墳、大和政権について考える。 ◆古墳などの代表的な文化遺産に着目して、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和政権について理解する。			
7	天皇中心の国づくり	6	○天皇や貴族がどのようにして国づくりをしたのかを調べ、ノートにまとめる。 ◆天皇を中心とした政治が確立していくことを理解する。			
9	貴族の暮らし 武士の世の中へ 今に伝わる室町文化	12	○貴族の暮らしの中から生まれてきた文化について資料集から調べ、日本風の文化が生まれたことを理解する。 ◆世の中の様子の変化や貴族の生活や文化の変化に着目し、日本風の文化が生まれたことを理解する。 ○武士がどのようにして力をもつようになったのかを調べ、平氏と朝廷の関係性や源氏が鎌倉幕府を開くまでの流れを理解する。 ◆源平の戦い、鎌倉幕府の始まりについて調べ、武士による政治が始まったことを理解する。 ○能や狂言、金閣や銀閣について調べ、室町時代の文化と今日の暮らしや文化とのつながりを考え、まとめる。 ◆能や狂言、室町に幕府が置かれたころの建造物などについて調べ、室町時代に生まれた文化と今日の暮らしや文化とのつながりに関心をもつ。			
10	戦国の世から天下統一へ 江戸幕府と政治の安定	12	○戦国の世の中になった経緯や信長、秀吉、家康の3人の武将の概要について調べて、学習問題と学習計画を立てる。 ◆戦国の世の統一に果たした織田信長・豊臣秀吉の大きな役割をまとめ、戦国の世が統一されたことを理解する。 ○徳川家康がどのようにして江戸幕府を開いたのかやそのような政治をおこなったのかを整理する。 ◆幕府の外交政策や交易の様子を捉え、江戸幕府の政治によって、武士の政治が安定したことや幕府の政策と人々の暮らしや社会の様子を関連付けて考え、表現する。			
11	町人の文化と新しい学問 明治の国づくりを進めた人々	12	○町人の生活が変わり、いろいろな文化や新しい学問が広まっていく様子をまとめ、説明しようとする。 ◆歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学を手掛かりに、町人の文化が栄え、新しい文化や学問がおこっていったことを理解する。 ○開国後に明治維新を進めた人々がどのような思いでそのような活動を行い、世の中が変わったのかを考え、発表する。 ◆明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化をすすめた様子を考え、表現する。			
12	世界に歩み出した日本	6	○条約改正にむけた動きと日本を取り巻く状況などを年表や資料集から読み取る。 ◆日清・日露戦争、条約改正、科学の発展などを手掛かりに、国際地位が向上していった背景を理解する。			
1	長く続いた戦争と人々の暮らし	7	○沖繩戦や広島・長崎の原爆被害について調べ、この戦争が大きな犠牲をはらって終わったことを理解し、戦争の学習から学んだことを表現する。 ◆日中戦争や我が国が関わる第二次世界大戦などについて考え、表現する。			(1) 地域教材を活用して、児童が関心をもって学習に取り組めるようにする。 (2) ICTを活用し、観察や見学、聞き取りなどの調査活動を含む具体的な体験を伴う学習やそれに基づく表現活動の充実を図る。 (3) 社会的事象の特徴や意味、社会にみられる課題などについて、多角的に考えたことや選択・判断したことを論理的に説明したり、立場や根拠を明確にして話し合ったりするなど言語活動に関わる学習を重視する。
2	新しい日本、平和な日本へ 世界の中の日本 日本とつながりの深い国々	16	○敗戦直後の資料から読み取ったことを話し合い、戦後改革や日本国憲法やオリンピック・パラリンピックについて調べる。 ◆日本国憲法の制定やオリンピックの開催などについて、予想や学習計画をたてながら振り返ったり、見直したりする。 ○日本と関係の深い国々の文化やスポーツなどについて調べ、様々な交流を通して、世界の国々と繋がっていることを知る。 ◆日本と経済や文化などの面でつながりの深い国々の生活は多様であること、異なることを理解する。			
3	世界の未来と日本の役割	6	○SDGsと世界で起こっている課題について考え、世界で起こっている環境問題について調べる。 ◆地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などについて資料から読み取り国際連合の動きや我が国の国際協力について捉える。			

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第6学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	算数		学習グループ名	小⑧	
目標・ねらい	(1) 分数の計算、文字を用いた式、図形の意味や体積、比例、度数分布を表す表などについて理解するとともに、計算をしたり、図形の面積や体積を求めたり、グラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。 (2) 目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力、データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い、解決の過程や結果を批判的に考察したりする力を養う。 (3) 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	河野 由美子				
年間授業時数	176 単位時間				
使用教科書	わくわく算数6 啓林館				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	算数のとびら 対称な図形	11	○長方形内部の図形の面積について、図などを関連づけて考える。 ◆割合についての理解を深める。 ○図形の対称性について、図形を折り重ねたり回したりする。 ◆線対称や点対称の意味を理解する。		(1) 映像、写真などを適宜使用し、児童に身近な題材や学校生活と結びつきのある題材を取り上げて学習を展開する。 (2) ワークシートを適宜活用し、考えを深めたり、整理したりすることができるようにする。 (3) 視覚的に分かりやすくするため、また日常生活への応用を意識し、具体物を使って指導する。
5	文字と式 分数×整数、分数÷整数	15	○数量やその関係について、xやyを使って式に表す。 ◆文字を使った式を理解し、活用しようとする態度を養う。 ○分数と整数の乗除について、その意味や仕方を考える。 ◆分数と整数の乗除計算できるようにする。		
6	分数×分数	15	○分数をかける計算や逆数について、その意味や仕方を考える。 ◆分数をかける計算が計算できるようにする。		
7	分数÷分数	15	○分数でわる計算について、その意味や仕方を考える。 ◆分数でわる計算ができるようにする。		
9	場合を順序よく整理して 円の面積	24	○場合の数について、落ちや重ならないように図や表で調べる。 ◆場合の数を求めることができるようにする。 ○円の面積について、その求め方や公式を考えたり説明したりする。 ◆円や円弧を含む複合図形の面積を求めることができるようにする。		
10	立体の体積	8	○柱体の体積について、その求め方や公式を考える。 ◆柱体の体積を求めることができるようにする。		
11	データの整理と活用 見方・考え方を深めよう (1)「子ども会の準備」	20	○度数分布表やヒストグラムなどをもとに事象の特徴を考察する。 ◆度数分布表やヒストグラムなどを活用しようとする態度を養う。 ○数量を表に整理して条件に合う場合に着目して解法を考える。 ◆順序よく調べる考え方を使えるようにする。		
12	比とその利用 図形の拡大と縮小	20	○様々な数量の割合を、比を用いて表す。 ◆比について、その表し方や比の値、等しい比の意味を理解する。 ○拡大図・縮図の性質や作図の仕方を考える。 ◆図形の拡大・縮小について、その意味を理解する。		
1	比例と反比例 見方・考え方を深めよう (2)「ぴったりを探せ!」	28	○数量の変化の様子や関係を式、表、グラフを用いて調べる。 ◆比例や反比例の意味を理解し、関数的な見方・考え方を深める。 ○数量の変化を表に整理してその和や差に着目して解法を考える。 ◆変わり方のきまりを見つかる考え方を使えるようにする。		
2	およその形と大きさ	10	○およその面積や体積の求め方や単位の間隔を考える。 ◆ものの概形のとらえ方やメートル法の仕組みについて理解する。		
3	見方・考え方を深めよう (3)「よい、スタート!」	10	○問題場面を図に表して全体と部分の割合に着目して解法を考える。 ◆全体を1として割合の考えを使って解くことができるようにする。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第6学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	理科		学習グループ名		小⑧
目標・ねらい	(1)自然の物事・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。 (3)自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	河野 由美子				
年間授業時数	105 単位時間				
使用教科書	新編 新しい理科6学年(東京書籍)				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	地球と私たちの暮らし 物の燃え方と空気	12	○人と環境との関わりについて、気付いたことや疑問に思ったことを表現する。 ◆人の生活について環境との関わり方の工夫について理解する。 ○ものが燃えるためには何が必要なのか考える。 ◆ものの燃焼のしくみを多面的に調べる活動を行い、ものの燃焼と空気の変化とを関係づけて捉える。		(1)写真や学習映像、インターネットなどの視聴覚教材を活用する。 (2)学習内容への興味、関心を高め、より具体的に学べるようにする。 (3)実験や観察は予想した考えを確かめる楽しさが味わえるようにする。
5	動物のからだのはたらき	11	○消化のしくみ、呼吸の働き、循環の働き ◆体のづくりや呼吸、消化、排出、循環の働きについて考え、生命を維持する働きや体のづくりと働きについて理解する。		
6	生き物どうしのかかわり	6	○生き物と水・空気の関わり ◆生き物と水、空気や食べ物の通り道とその関わりについて、観察・実験し、関係性について理解する。		
7	私の研究	3	○理科室のルールや実験前に留意しておくこと等を確認する。 ◆理科室の約束や、学習で使う薬品や器具に興味をもち、安全に実験する方法を身に付けようとする。		
9	月の形と太陽	9	○月の見え方について観察や実験を行い、月の位置や形と太陽の位置の関係についてまとめる。 ◆月の形の見え方は太陽と月の位置関係で変わることを理解する。		
10	大地のつくり 変わり続ける大地	10	○地層がどのようにしてできるのかを調べ、まとめる。 ◆大地は長い年月と大きな空間的な広がりの中でつくり変えられてきたことを理解する。 ○地震や火山によって大地のつくりや変化していることを調べ、理解する。 ◆土地のつくりやでき方を多面的に調べ、土地のつくりや変化について理解する。		
11	てこのはたらきとしくみ	9	○てこのはたらきとしくみ ◆てこの実験を通して、重いものを楽に持ち上げる方法や、てこがつり合うときの規則性を理解する。		
12	電気と私たちの暮らし	13	○電気の働きや利用について理解し、まとめる。 ◆電気は、作り出したり蓄えたりできること、電気は光、音、熱などに変えられることを理解する。		
1	水溶液の性質とはたらき	12	○水溶液の性質 ◆水溶液の性質や働きの違いを調べ、その働きについて理解する。		
2	地球に生きる	11	○人と空気や水、生き物、大地などの環境との関わりや、人の暮らしが環境に及ぼす影響について考える。 ◆人は環境の関わり、工夫して生活していることを理解する。		
3	1年間をふりかえろう 中学生になったら・・・ 理科とプログラミング	9	○これまで学習した内容を見直し、振り返る。 ◆5年生で学習した内容を振り返る。 ○身の回りのSDGsの取り組みについて考える。 ◆理科とSDGsの関係について考える。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第6学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	音楽		学習グループ名		小⑧
目標・ねらい	(1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしよとする態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	加藤 尚				
年間授業時数	51.5 単位時間				
使用教科書	小学音楽 音楽のおくりもの6 (教育出版)				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	スキルアップ にっぽんのうた みんなのうた	4.5	○曲想を感じ取って表現を工夫し歌う。 ◆呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能や、拍に合わせ、全体の響きを聴いて演奏する技能を身に付ける。 ○歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、日本の歌に親しむ。 ◆自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。		(1) 活動への意欲を高められるよう、児童の興味・関心のある音楽や楽器も適宜取り上げる。 (2) 授業中の児童の様子をよく観察し、適切な支援・指導ができるようにする。
5	短調のひびき	4	○長調と短調の響きの違いに興味をもち、転調する音楽に親しむ。 ◆八長調やイ長調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。		
6	アンサンブルのみりよく めざせ楽器名人	7	○演奏者の思いを感じ取ることに興味をもち、オーケストラや合唱の響きに親しむ。 ◆旋律やおとの重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもつ。 ○リコーダーアンサンブルに親しむ。 ◆リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。		
7	音のスケッチ にっぽんのうた みんなのうた	6	○動機をもとにした旋律づくりに親しむ。 ◆動機の変化のさせ方やフレーズのつなげ方について、それらの生み出すよさやおもしろさについて理解するとともに、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 ○自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 ◆歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、日本の歌に親しむ。		
9	せん律のひびき合い	4	○旋律の重なりに興味をもち、合唱を楽しむ。 ◆各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を身に付ける。		
10	音楽のききどころ	4	○バイオリンとピアノによるアンサンブルに興味をもち、室内楽に親しむ。 ◆楽器の音色や楽器同士の関わり、旋律の変化や反復を聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら曲のよさを見出す。		
11	豊かな表現	3	○ジャズをもとにした音楽や器楽合奏に親しむ。 ◆旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きを感じ取りながら、聴き取ったこと、感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。		
12	音のスケッチ	4	○循環コードの音楽に親しむ。 ◆和音のよさを感じ取り、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得る。		
1	世界の音楽 日本の音楽	8	○曲のよさを見出し、世界の音楽に親しむ。 ◆諸外国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、曲全体を味わって聴く。 ○曲のよさを見出し、日本の音楽に親しむ。 ◆我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、曲全体を味わって聴く。		
2	思いをこめた表現	3	○合奏や二重奏、二部合奏に親しむ。 ◆伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付ける。		
3	音のスケッチ ジャズとクラシック 音楽の出会い	4	○全音階や5音階に親しむ。 ◆もととする二つの音階の響きの特徴、各声部の役割を理解し、音楽の仕組みをもとに音楽をつくる技能を身に付ける。 ○ピアノとオーケストラによる音楽に親しむ。 ◆ジャズとクラシックが融合した音楽に興味をもつ。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第6学年	教育課程名		準ずる教育課程	
教科等名	図画工作		学習グループ名		小⑧		
目標・ねらい	(1) 対象や事象と捉える造形的な支援について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくり表したりすることができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わい、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。						
担当教職員 *学校介護職員	河野 由美子						
年間授業時数	50 単位時間						
使用教科書	図画工作5・6上下(日文)						
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導上の留意点及び工夫	
4	おもしる筆 墨と水から広がる世界	4	○柄や筆先に使えそうな材料を集め、墨と水を使っていろいろな表現を試す。絵具、墨と水、筆などの使い方を工夫して表現を深めようとする。 ◆身近な材料を使い、材料の特徴や材質を考えながら筆跡を想像したり、墨と水を使ってできることを試しながら表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、面白い形や線がかける筆を工夫してつくる。			(1) 様々な材料を使い、創造して取り組む楽しさを味わえるようにする。 (2) 授業中の児童の様をよく観察し、適切な支援・指導ができるようにする。	
5	固まった形から	4	○布に触れいろいろな形を見付け、液体粘土をつけて、つるしたりねじったりするなどいろいろな形を試して、よいと思った形で固定する。固まった形をいろいろな向きから見て思いついたことを表す。 ◆液体粘土で固めた布の形の美しさや面白さを感じ取り、見立てたり、形を生かしたりして、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、想像を広げて立体に表す。				
6	すてきな明かり	4	○プラスチック段ボールや材料に光を当てて、光の通る感じを味わいながら、表したいことを考える。 ◆光の様子を見ながら発想し、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、プラスチック段ボールや色セロハンなどを使って、きれいな光を感じるランプシェードを工夫してつくる。				
7	くるくるクランク	4	○クランクの仕組みを知り、材料や用具の使い方を工夫してつくる。 ◆クランクの仕組みを生かして、動きのある面白いおもちゃなどを考え、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。				
9	音のする絵	4	○音から思い浮かべた形や色を切って貼ったり、描いたり表す。 ◆身近な音を感じながら形や色を思い浮かべて、造形的な特徴を捉えながら自分の思いに合う表し方を工夫して絵に表す。				
10	私の大切な風景 私の感じる和	6	○思いが表れるように表し方を構想して、自分が大切に思う風景を表す。 ◆日頃の生活の中にある自分にとって大切な風景を思い浮かべたりしながら、そのときに様子や思いに合う形や色の特徴を捉え、工夫して絵に表すことを楽しむ。 ○生活の中にある「日本の美術」だと思ふものを集めたり調べたりする。 ◆古くから親しまれてきた日本の美術に触れ、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、そのよさや美しさ、表現の特徴を感じ取る。				
11	言葉から想像を広げて	5	○詩や短歌、物語などを読んで、感じたことや思い浮かんだことを小さな紙に簡単にかく。かいたことや読んで感じたことを基に表したいことや表し方を考えて表す。作品を友人に見せて、将来の夢やしたいことをどのように表したのかを紹介し合う。 ◆詩や短歌、物語などを味わい、その言葉からにじみ出る雰囲気や感じ取った思いが伝わるように、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、画面の構成を考え、表現方法を工夫して絵に表す。				
12	未来のわたし	5	○未来の自分がしたいことや様子などを思い浮かべたり話し合ったり調べたりする。表したい様子を考え、ポーズなどを考えながらつくる。作品を友人に見せて、将来の夢やしたいことをどのように表したのかを紹介し合う。 ◆未来の自分を想像し、自分が将来したいことなどを考え、夢や願いを込めて材料や形の作り方を工夫して、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、立体に表す。				
1	版で広がるわたしの思い	6	○選んだ版表現の手順を確認し、アイデアスケッチや下絵をかく。版をつくり刷る。思いに合わせて繰り返し刷り足したりする。 ◆これまでの経験を生かし、自分の思いに合った版に表す技法を用いて、彫りや刷りの効果を確かめながら、形や色などの造形的な特徴を捉え、版に表す。				
2	ドリームプロジェクト	8	○アイデアスケッチをしながら、よりよい学校や町づくりの計画を立てたり表現方法を考えたりする。				
3			◆楽しく幸せに過ごせる願いを込めた学校や町づくりの計画を、形や色などの造形的な特徴を捉えながら模型やイラスト、設計図などに表して、友人や学校に訪れた人に分かりやすくプレゼンテーションをする。				

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第6学年	教育課程名	家庭	学習グループ名	小⑧	準ずる教育課程	小⑧
教科等名	家庭		学習グループ名		小⑧				
目標・ねらい	(1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (3) 家庭生活を大切にしている心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。								
担当教職員 *学校介護職員	河野 由美子								
年間授業時数	55 単位時間								
使用教科書	小学校 わたしたちの家庭科5・6 (開隆堂)								
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)				指導上の留意点及び工夫		
4	生活時間をマネジメント	3	○自分の生活時間、家族との時間の使い方 ◆自分の生活時間を見つめ直し、課題に気づく。自分の生活時間を調べ、家族との時間の使い方の課題を見つけ、有効な使い方が分かる。				(1) 生活の中から問題を見出し、課題を設定し、解決方法を検討し、計画・実践・評価・改善するという一連の学習過程を重視し、知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力の育成をする。 (2) ICTを活用して、個に応じた指導、児童の協働的な学びなどを行う。 (3) 実感を伴った理解を深めるために、実際に見たり、触れたりすることができる実物や標本、ふれあい体験などに必要な教材の充実をする。		
5	できることを増やしてクッキング	8	○「ゆでる」調理と「いためる」調理の違いを考える。 ◆ゆでる調理といためる調理の違いを考え、いためる調理の良さが分かる。 ○朝食を食べる理由 ◆食品を組み合わせるとる必要があることが分かり、できるようになった調理を生かして、朝食を作ろうとする。						
6	クリーン大作戦	4	○そうじの仕方と工夫 ◆住まいのそうじの必要性に気づき、そうじの仕方について考え、汚れの特徴を知り、課題をもって見直すことができる。						
7	すずしく快適に過ごす住まい方	3	○暑い季節の住まい方 ◆暑い季節の住まい方について課題を見出し、快適に過ごすための工夫を考えることができる。						
9	すずしく快適に過ごす着方と手入れ	5	○すずしく快適な着方と衣服の手入れ ◆すずしい着方について理解する。日常着の手入れが必要であることや、衣服のボタンの付け方及び洗濯の仕方を理解する。手洗いによる洗濯ができる。						
10	生活を豊かにソーイング	10	○生活を豊かにするふくろを作り ◆生活を豊かにするふくろを作るために、目的に合わせた工夫を考え、製作計画を立てることができる。製作計画をもとに、縫い方や手順を考え、工夫して製作することができる。						
11	こんだてを工夫して	11	○栄養を考えた食事のとり方、1食分の献立作成の方法 ◆1食分の献立を構成する要素が分かり、1食分の献立作成の方法について理解する。栄養バランスのよい1食分の献立について考え、課題解決する力を身につける。						
12									
1	共に生きる地域での生活	4	○家族や地域の人々との関わり ◆家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることや、協力し助け合っていく必要があることについて理解できる。						
2									
3	持続可能な社会を生きる生活の課題と実践	7	○自分の生活が環境に与えている影響、環境に配慮した物の使い方 ◆実践や家族等が行っていることをふり振り返り、環境負荷に配慮した生活を継続していこうとする。 ○家庭生活や家庭科学習のふり振り返り ◆ 家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、計画を立てて実践し、評価・改善するなどして課題を解決する力を身に付ける。						

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第6学年	教育課程名	体育	学習グループ名	小⑧	準ずる教育課程	小⑧
教科等名	体育		学習グループ名		小⑧				
目標・ねらい	(1) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。 (2) 自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。								
担当教職員 *学校介護職員	河野 由美子								
年間授業時数	35 単位時間								
使用教科書	新編 新しい保健 5・6年 (東京書籍)								
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)				指導上の留意点及び工夫		
4	体づくり運動 運動会練習 水泳	8	○体操、5分間走、体づくり運動、水泳指導 ◆身体をたくさん動かして、健康の保持増進と、体力向上を目指す。						
5									
6									
7									
9	球技 ・ポッチャ ・ティーバットベースボール	9	○ルールの理解、ボールを投げる・転がす等の練習、チームでの練習と試合 ◆ルールのある競技を通して、自己の運動力を高めるだけでなく、友達と協力したり、高め合ったりする。				・児童の実態や目標に即して、小集団に分けて授業を行う。 ・児童が自分の運動の振り返りを行うことができるようにするため、振り返りシートや視覚教材等を活用する。 ・児童が授業における目標を設定することで、主体的に運動に取り組めるようにする。		
10									
11									
12									
1	表現の運動	8	○小グループでの動きの確認、小グループでの練習・発表 ◆集団でのリズムダンスを通して、自己の運動能力を高める。						
2									
3									
通年	生活と健康(保健)	10	○生活習慣病、薬物 ◆自身の生活を振り返るとともに、健康への興味関心を高める。						

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第6学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	外国語		学習グループ名		小⑧
目標・ねらい	(1) 外国語と日本語との違いに気づき、実際のコミュニケーションにおいて活用できる、読む・書く・聞く・話すなどの基礎的な技能を身に付ける。 (2) 目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 (3) 文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	高須 彩				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	Here We Go!6				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	Let's Start	4	○挨拶やアルファベットの復習をする。 ◆6年の学習の準備をする。		(1) 映像などを適宜活用し、英語を使う楽しさを感じられるようにする。 (2) 実態に応じた題材選定や授業展開を心がけ、児童が達成感を得られるように留意する。
5	Unit 1 This is me.	6	○自分の興味関心を伝える。 ◆内容を整理して自己紹介をする。		
6	Unit 2 Welcome to Japan.	6	○日本の行事やできることを紹介する。 ◆日本の行事を紹介する。		
7	Unit 3 What time do you get up? まとめ	8	○ふだんの生活についてたずね合う。 ◆1日の生活の様子をたずね合う		
9	Unit 4 My Summer Vacation	6	○絵日記を書いて伝え合う。 ◆夏休みの思い出を伝え合う。		
10	Unit 5 We live together.	6	○動物の気持ちを伝えるためにポスターを書く。 ◆動物の気持ちを伝える。		
11	Unit 6 I want to go to Italy.	6	○旅行会社の人になって紹介する。 ◆世界の国々の魅力を伝える。		
12	まとめ	8	○したことやしたいことを聞き取る。 ◆世界の友達のインタビュー映像をみて内容を理解する。		
1	Unit 7 My Dream	6	○「夢宣言」をする。 ◆自分の将来について伝え合う。		
2	Unit 8 My Best Memory	6	○思い出を共有するために学校行事の出来事や感想を発表する。 ◆スピーチを聞いて、質問したり感想を伝えたりする。		
3	まとめ	8	○企画を立ててEnglish Festivalを開く。 ◆English Festivalを開く。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門)年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第6学年	教育課程名	教育課程名	準ずる教育課程	準ずる教育課程
教科等名	道徳		学習グループ名		小⑧		
目標・ねらい	よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。						
担当教職員 *学校介護職員	河野 由美子						
年間授業時数	35 単位時間						
使用教科書	小学道徳 ゆたかな心 6年(光文書院)						
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導上の留意点及び工夫	
4	心を受けつぐ(一年生のお世話係-アフター・ユ-)	3	○6年生として果たすべき役割とその役割を果たすために大切なことについて話し合う。 ◆6年生としての役割を自覚し、学校生活をよりよく充実したものになろうとする。			(1) 学校生活全般において指導を行う。 (2) 題材に応じて、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間および特別活動との関連を考慮しながら指導を行う。	
5	働く人の思い(世界がおどろく七分間清掃)	3	○私たちの周りで働いている人が、どのような思いで働いているのか、話し合う。「世界がおどろく七分間清掃」を読み、働くことの意義について考える。私たちの周りで働いている人たちの思いについて話し合い、自分たちにもできることを考える。 ◆働くことのよさや大切さを知ると共に、自らも公共のために役立とうとする気持ちをもつ。				
6	マナーとルール(「マナーからルールへ、そしてマナーへ」)	3	○マナーとルールの違いについて話し合う。今日の学習を、自分の言葉でまとめる。 ◆「マナー」と「ルール」の違いを考えるを通して、法やきまりの意義を理解し、進んでそれを守ろうとする。				
7	気持ちよく生活するために(いらなくなったきまり)	3	○クラスのきまりについて話し合う。「いらなくなったきまり」を読み、クラスみんなが気持ちよく生活するために大切なことについて考える。今日の学習から、自分の考えをまとめる。 ◆みんなが気持ちよく生活するために、社会生活上のきまりを守るだけでなく、自分を律し、マナーを大切に生活する。				
9	本当の礼儀とは(温かいおまんじゅう)	3	○「本当の礼儀」とはどのような礼儀か考える。「温かいおまんじゅう」を読み、「本当の礼儀」についてまとめる。 ◆礼儀の意味が分かり、礼儀正しく真心をもって人に接しようとする。				
10	相手を思う心(地球があぶない)	3	○教科書P.130~131の写真を見ながら、自然を守ることに話し合う。「地球があぶない」を読み、どうすれば自然を守ることができるかについて考える。自然を守ることに話し合い、自分の考えをまとめる。 ◆自然破壊の原因を理解し、自然を守るためにできることを考え、自分なりの方法で自然環境を大切にしようとする。				
11	日本のよさを大切に(これが日本)	3	○自分が思う日本のよさを発表する。「これが日本」を読み、日本の伝統や文化のよさについて話し合う。日本のよさを守るために、自分たちにできることをまとめる。 ◆郷土やわが国の伝統と文化を大切に、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。				
12	温かい心(命のおにぎり)	3	○人の温かさを感じる時はどのようなときか話し合う。「命のおにぎり」を読み、親切な行為と温かな心との関係を考える。本時で学んだことを自分の言葉でまとめる。 ◆親切な行為は、困っている人を放っておけない心から生まれていることが分かり、自分も人に対して親切にしようとする。				
1	「弱い心」をコントロール(本当にだいじょうぶ?)	3	○「弱い心」について考える。「本当にだいじょうぶ?」を読み、「弱い心」をどのようにしていったらよいかについて考える。自分の生活を振り返り、見直すことはないか考える。 ◆安全に気をつけることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心がけようとする。				
2	地域の人々を支えるもの(よみがえれ熊本城)	4	○自分たちの地域で大切にされているものについて話し合う。「よみがえれ熊本城」を読み、熊本城に対する地域の人々の思いについて考える。自分たちの地域の伝統や文化が大切にされている理由について話し合う。 ◆郷土の伝統と文化を大切に、先人の努力を知り、郷土を愛する心をもつ。				
3	命と平和(羽ばたけ、折り鶴)	4	○「原爆の子の像」について知っていることを話し合う。「羽ばたけ、折り鶴」を読み、命と平和について考える。命や平和の大切さについて話し合う。 ◆生命は、多くのつながりの中にあり、かけがえのないものであることを理解し、自他の生命を尊重しようとする。				

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第6学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	総合的な学習の時間		学習グループ名	小⑧	
目標・ねらい	(1) 探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解できるようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	河野 由美子				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	ロボットを使った、色々なゲームを考えて、遊ぼう。(プログラミング学習)	20	○ロボットの操作やプログラミングの仕方を覚える。人形を使ったショートムービーを考える。友達と協力したり、競ったりすることを楽しむ。		(1) 調べ学習や調理実習においては、児童にとって目的意識をもてるような働き掛けや授業計画を立てる。 (2) 題材に応じて、各教科、外国語活動および特別活動との関連を考慮しながら指導を行う。 (3) ICT機器を活用する。
5			◆ものごとを順序立てて考える力を身に付ける。友達のことを考えて工夫することができる。		
6					
7					
9	社会見学事前学習	30	○何について調べるか選択する。調べることに決めたものについて、本やICT機器を使って調べる。 ◆見学先について主体的に調べられる。		
10					
11			○身の回りのSDGsについてしり、自分にできることを考える。世界のSDGsの取り組みについて知り、日本や身近なこととの違いについて考える。 ◆身近なSDGsの取り組みについて考える。		
12					
1	卒業進級を祝う会をしよう	20	○卒業進級を祝う会の企画、運営 ◆一年間の成長を振り返り、学習の集大成とする会を自分たちで企画運営し、主体性や計画性を養う。		
2					
3					

令和6年度(2023年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第6学年		
教科等名	特別活動		学習グループ名	6学年	
目標・ねらい	(1)学年の集団の中で、活動に気持ちを向けたり、意欲的に表現したりする。 (2)様々な行事に向けて、期待感や見通しをもつ。 (3)簡単なルールを理解して、活動に主体的に参加する。				
担当教職員 *学校介護職員	高塚健二 上田順也 畠中正和 中村倫子 河野由美子 *石川美津子 *中村典子 *丸山佐知子				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書					
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	自己紹介をしよう 運動会の準備をしよう	2	○自己紹介、運動会の応援団練習、紅白発表 ◆集団活動を通して、教職員や友達とやりとりをする。 ◆行事に興味をもって、期待感や見通しをもって参加する。		<ul style="list-style-type: none"> ・安心して活動に参加できるように、わかりやすい言葉掛けや共感的な関わりをする。 ・ICT機器も用いて、絵カードやイラストを用いながら視覚的に分かりやすく伝えるようにする。 ・行事で使う歌や写真等を事前学習で使って、期待感や見通しをもてるようにする。
5	運動会の準備をしよう	3	○衣装づくり、運動会の応援団練習、紅白発表 ◆行事に興味をもって、期待感や見通しをもって参加する。		
6	移動教室の準備をしよう 移動教室の振り返りをしよう	3	○移動教室の事前学習、事後学習、レクリエーション ◆行事に興味をもって、期待感や見通しをもって参加する。		
7	学年の時間	2	○レクリエーション、製作など ◆簡単なルールを理解して、活動に参加する。 ◆普段とは違う集団で、活動に気持ちを向けて参加する。		
9	社会見学の準備をしよう 社会見学の振り返りをしよう 修学旅行の準備をしよう 墨東祭の準備をしよう クラブ活動	3	○墨東祭の事前学習、社会見学・修学旅行の事前、事後学習、クラブ活動 ◆行事に興味をもって、期待感や見通しをもって参加する。		
10		4			
11		5			
12	墨東祭の準備をしよう 墨東祭の振り返りをしよう	3	○墨東祭の事前、事後学習 ◆行事に興味をもって、期待感や見通しをもって参加する。		
1	学年の時間 卒業の準備をしよう 卒業式練習	3	○レクリエーション、卒業製作、卒業準備、など ◆簡単なルールを理解して、活動に参加する。 ◆普段とは違う集団で、活動に気持ちを向けて参加する。		
2		4			
3		3			

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	6年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	自立活動		学習グループ名		小⑧
目標・ねらい	(1) 障害による学習上、生活上の困難を改善する。 (2) いろいろな姿勢や動作を経験することで、自分自身の身体とその動きを感じ、受け入れる力をつける。 (3) ストレッチなど、変形や拘縮の予防につながる活動を進んで行う。				
担当教職員 *学校介護職員	河野 由美子				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
通年	身体の取組 コミュニケーション	70	○ストレッチ ○姿勢変換(臥位から座位へ、寝返り、車いすから床への移乗、床から車いすへの移乗など) ○姿勢保持(座位、膝立ち、立位など) ○歩行練習 ○手指の操作性を高める取組 ○視機能を高める取組 ○コミュニケーションゲーム ◆身体を取組や健康に関することなどに取り組み、日常生活に生かす ◆正しいコミュニケーションを学び、実践する力をつける。		・身体を取組を行う際には適切な指導を行えるよう、個々の身体の状態を細かく把握し、共有する。 ・日々の生活において自分自身で行えるような活動を外部専門員と相談し、決定する。 ・正しいコミュニケーションの方法や言葉遣いの例示を行う。